

消防団たずね歩き

玉津支団ポンプ操法競技会

西消防団玉津支団が担当している玉津地区は、神戸市の西部に位置し、南西側には明石市の中心部があり、神戸市西区の中では最も早く都市化の波を受け住宅や商業施設が多く立ち並ぶ地域となっています。

玉津支団は北井西消防団長のもと、8分団、14班、242人で活動をおこなっています。

今回は、玉津支団が毎年恒例でおこなっています「玉津支団ポンプ操法競技会」を紹介させていただきます。

この競技会は昭和46年に第1回が開催され、阪神・淡路大震災がおこった平成7年を除き、今年で42回を迎える伝統ある競技会となっています。

競技会の内容は、各班から選抜された6人（指揮者、ホース担当3人、機械担当、吸管担当）1チームが、3本のホースを延長し標的を倒すまでのタイムを競います。

基本の内容は、神戸市の全消防団が参加する神戸市消防団小型動力ポンプ操法競技会に準じていますが、スタート位置からポンプ位置までの距離が38mあり、その間を走ってから操作をおこなうところが

大きな違いです。

また、ホース担当者はスタート位置に置かれているホースを、かなりの距離を担いで走ることとなりますので体力が必要となります。

競技会当日は、地域の自治会、消防団OB、選手の家族等大勢の人が観覧され、選手は日頃の訓練の成果を披露します。

余談ですが地域の消防団関係者が集まる場では、「昔は、スタート位置から今より重たいポンプを担いで走っていた」「重く太いホースを2本肩に担いで走った」など、OBの方からの武勇伝的な話や、ホースの巻き方等の工夫など操法の話で盛り上がる時がよくあります。

今年の競技会で優勝した出合班、準優勝の新方班、3位の吉田班の3班が、11月におこなわれます西消防団ポンプ操法競技会に出場し、他の6支団と競技することになっています。

支団一丸となり優勝を目指しますので、応援よろしくお願ひします。

（神戸市西消防団玉津支団 支団本部付
〈第8分団 吉田班〉 部長 鳥井秀記）



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

